

4
月号

JA NEWS
2025 NO.671

甘藷畠立てをスマート化 自動操舵システムで 効率アップ

2月より東部営農経済センター
甘藷部会は、希望した部会員30印
へ、県単事業「農山漁村未来創造
事業」を活用し、所持するトラク
ターに後付けで自動操舵システム
を搭載しました。

2月6日、伊勢直樹部会長の圃
場でシステム活用のため研修会を
開催しました。

部会では、生産者約120戸で
なると金時「甘姫」を出荷しており、
品質維持・選別の統一化等の努力
によって長年、市場から高い支持
を受けています。栽培面でも工夫
を凝らしていますが、最も技術の
鍛錬を必要とする作業がトラク
ターでの畠立てです。

畠立ては、同時に土壤消毒のた
め薬剤散布とマルチシート張りを
行っており、適宜、後方確認をし
ながらまっすぐな畠を立てる必要
があります。運転操作の正確さが



楽しみながら農業を知って 職業イベントに出展

2月1日、徳島市・名東郡P-TA連合会が
主催するお仕事体験イベント「未来の種を育
てよう」がアスティとくしまで開催され、南
部しいだけ部会の福高和宏さん、多家良支所
いわじ部会の瀬川俊夫さん、木下芳臣さんが
農業体験ブースを出展しました。

このイベントには、徳島市・名東郡の小学
生が参加し、県内約25ヶ所の企業・団体の中
から児童が希望するブースを選び、職業体験
を行うものでした。

農業ブースでは、しいたけ・いわじ農家の
仕事についての説明後、収穫・パック詰め体
験を実施しました。体験に参加した児童はい
ろんな大きさのものがあったので、きれいに
詰めるのが難しかったけど、作業がとても楽
しかった」と笑顔で話しました。

いわじ農家の木下さんは、「イベントをきっかけに、将来どんな形でもいいので、一人で
多くの子が農業関連の職業を希望してくれ
ることを願っている。後継者維持、今後の地
域農業のために積極的に活動を続けたい」と
話しました。

現在、イチゴ10ホールを栽培しています。今作で3年目
にあたりますが、育苗中の高温障害対策として一部の
ポットを黒色から乳白色のものに変更して栽培を試み
たものの、日光が通過してしまい苔が発生し、根が傷
んでしまいました。このことから、1つの誤った選択
が大きな痛手になることを身を以て感じたそうです。
さらに、残暑が厳しく、1番果の秀品率が低かったこ
ともあり、温暖化が進む中で品質を維持しながら需要
期に供給できる体制づくりの難しさを感じています。

里さんは、現在、たくさんの人々に支えてもらっているが
ら生産に励めている。今後、後継者維持のため自分が
新しい就農者の助けになることが、部会の方々への恩
返しになると信じて、貢献していきたい。気候は変動
しており、栽培も経営も毎年同じ条件・状況で行える
わけではない。毎年、勉強の連続ではあるが、常に試
行錯誤しながら楽しく生産続けていきたい」と話
しました。

さくらももいかじを生産 里昭男さん

びざん



畠立ては、同時に土壤消毒のた
め薬剤散布とマルチシート張りを
行っており、適宜、後方確認をし
ながらまっすぐな畠を立てる必要
があります。運転操作の正確さが



枝豆播種受託作業を開始

複合経営農家の
ニーズが増加



JA ぎふえだまめ部会が産地視察

の稼働により、農家が枝豆生産に参入しやすくなつたことに加え、3 年前より茶豆風味の枝豆を「あわっちやまめ」として独自ブランドで販売を開始しました。秋冬作物としてほうれん草、ブロッコリーを栽培する農家が、水稻に代わる夏季の表作物として枝豆を栽培するケースが増加したことや、1 月下旬から 3 月下旬は、トンネル作型の栽培を行うことから、播種時期には、秋冬野菜の収穫と作業が重なり、播種作業委託のニーズは高くなっています。

加茂名支所管内、主にカリフラワーを生産する大西啓太さん(29) もその一人であり、2月19日、作業委託によって枝豆 20ha の播種を行いました。今後、時期をずらしながら約 3 箇を播種するため、約半分の面積の作業は同センターへ委託しています。現在、枝豆の播種作業と並行し、カリフラワー、ほうれん草を出荷しており「止めることができない出荷作業に対して、播種作業の委託によって計画的に作業が進むことは大きなメリットだ。」と話します。



2月4日、北部農業センターに JA ぎふえだまめ部会の生産者、県、全農担当者、JA ぎふ職員の約 20 名が視察研修のため訪れました。

枝豆選果選別施設を見学後、枝豆統一部会 前川久部会長をはじめとする関係職員と意見交換会を行いました。

両産地とも栽培面積の減少や、地球温暖化による栽培管理の難しさ、加えて資材価格の高騰による影響など、大変厳しい課題を抱えた現状であることを改めて認識しました。

同センター営農課 藤川真澄課長は「引き続き、両部会が二大産地として切磋琢磨し、産地の成長に繋がるよう交流を深めながら、課題解決に向けた体制づくりに努めたい。」と話しました。



佐那河内ふれあいまつりで優秀農林産物表彰式 加藤さんが知事賞

佐那河内村で2月2日、第25回「佐那河内ふれあいまつり」が開催され、農林産物品評会の表彰式が行われました。

冷蔵すだち・温州みかん・キウイフルーツ・大川原ねぎ・さくらももいちごなど 150 点の出品がありました。厳正なる審査の結果、露地すだちの部門において加藤秀數さんが徳島県知事賞を受賞しました。その他の受賞者は下記の方々です。

(敬称略)

区分	賞名	部門	入賞者名
最優秀賞	徳島県知事賞	露地すだち	加藤 秀數
最優秀賞	徳島県議会議長賞	さくらももいちご	栗坂 政史
最優秀賞	徳島県東部農林水産局長賞	温州みかん	加藤 秀數
〃	〃	キウイフルーツ	大西 克典
最優秀賞	全国農業協同組合連合会徳島県本部長賞	冷蔵すだち	岡崎 是礼
〃	〃	大川原ねぎ	青木 正人
〃	〃	菜の花	安藝 恵
最優秀賞	徳島県果樹研究連合会長賞	温州みかん	森本 貞夫
〃	〃	露地すだち	黒石 敏文
〃	〃	キウイフルーツ	日下 武弘
最優秀賞	徳島市農業協同組合長賞	温州みかん	中河 重一
〃	〃	さくらももいちご	里 昭男
〃	〃	菜の花	多田 雅雄
最優秀賞	佐那河内村長賞	露地すだち	大仲 香織
〃	〃	キウイフルーツ	黒石 敏文
〃	〃	大川原ねぎ	安藝 恵
〃	〃	しいたけ	中河 昭一
〃	〃	菜の花	八波田 尚志
優秀賞	佐那河内村長賞	温州みかん	青木 喜久子
〃	〃	冷蔵すだち	大仲 保
〃	〃	露地すだち	千田 英二
〃	〃	露地すだち	丸野 英樹
〃	〃	さくらももいちご	谷剣 栄治
〃	〃	キウイフルーツ	加藤 秀數
〃	〃	大川原ねぎ	中井 清文
〃	〃	しいたけ	岡西 稔
〃	〃	菜の花	橘 好榮
特別賞	佐那河内村議会議長賞	その他野菜	中井 清文
最優秀賞	佐那河内農業振興協議会長賞	立木審査 ハウスすだち	佐々木 和男
〃	〃	立木審査 キウイフルーツ	大西 整
〃	〃	圃場審査 大川原ねぎ	青木 正人
優秀賞	佐那河内農業振興協議会長賞	立木審査 ハウスすだち	森脇 昌之
〃	〃	立木審査 ハウスすだち	安喜 正道
〃	〃	立木審査 キウイフルーツ	谷 昭
〃	〃	立木審査 キウイフルーツ	加藤 秀數
〃	〃	圃場審査 大川原ねぎ	池田 吉信



▲写真は、露地すだちの部で、徳島県知事賞を受賞した加藤秀數さん

さらに、ふれあいまつりでは「阿波のわな名人戦」の表彰式が行われました。これは、農作物被害対策として有害鳥獣を捕獲するだけでなく、次世代の狩猟者育成に繋げ、狩猟のさらなる活性化を図るイベントとして開催されました。期間は、令和 6 年 11 月 15 日から令和 7 年 1 月 15 日までの間で、ニホンジカの捕獲を競ったものです。

捕獲したニホンジカは、捕獲数、雌雄別、成獣・幼獣別でポイント化し、ポイント獲得数が多い狩猟者が表彰されました。また、新人狩猟者の育成のために、狩猟経験 5 年未満の狩猟者に限定した表彰も行われました。

表彰された方々は下記のとおりです。(敬称略)

総合

- 第1位 松長 英視
- 第2位 西内 守
- 第3位 東條 操

新人の部

- 第1位 安藝 通彦
- 第2位 岩野 利治
- 第3位 服部 泰博



▲写真は、左から岩城村長、松長英視さん、西内守さん、東條操さん、安藝通彦さん、岩野利治さん、岩井常務

北部農業経済センターに太陽光発電設備を導入 電力費負担軽減へ



2月下旬よりJA徳島市は北部農業経済センターに太陽光発電設備を導入しました。農業経済センターと予冷施設の屋上に自家消費型太陽光パネル（最大出力150kw）540枚を設置しました。近年の電気料金高騰対策として導入し、生産者への負担軽減を図るほか、CO₂削減を進め、脱炭素社会実現への取り組みにも繋げます。【写真は、農業経済センター屋上の太陽光パネル】



農業をもっとワクワクするものに。～アグリクラブ徳島会員募集中！～



アグリクラブ徳島は、徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山村の7市町村に在住している若手農業者で構成されている青年農業者組織です。経営品目は野菜や花、果樹からシイタケまで多岐にわたり、共通の課題を見つけるのに苦労する場面もありますが、幅広い視点から農業を見つめたり、経営のヒントを得られたりするメリットもあります。

[つながる] [気づき・学ぶ] [行動・活動する] を活動方針として、生産技術や経営力の向上、仲間作りを目的に様々なことに取り組んでいます。現在は20代から40代までの農家が20名所属しており、「先輩農業者と話がしたい」「同年代の友達がほしい」「補助金の情報収集のため」など加入理由は様々ですが、皆さん日々楽しく日々真面目に活動しています。

令和6年度からは、徳島市北井上地区でニンジンを栽培している政岡拓人氏が会長を務めており、政岡氏は「儲かる農業に向け、クラブ員のスキルアップに繋がる活動をしたい」とクラブのさらなる活性化を目指しています。

【アグリクラブ徳島会長政岡拓人氏】



○青年農業者組織とは

青年農業者組織（通称：4Hクラブ）では、将来の日本の農業を支える若い農業者が中心となり、プロジェクト活動（自身の農業経営における課題を見つけ、それを解決するために目標・計画を立てる）のほか、JA青壮年部や消費者等との交流、地域ボランティア活動を行っています。現在、日本全国に約630クラブ、約9,000人のクラブ員が、それぞれの活動を通じて、若手農業者の刺激となりつつ、「日本や世界で貢献できる農業者」となることを目指しています。

相談

●島田清弁護士の無料法律相談

【日 時】第3土曜日9:00～12:00

【申込先】金融共済部へ事前に予約が必要

☎ 088-622-6336

【場 所】本所1階金融相談室

●賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

【日 時】4/15(火)、4/22(火)、4/30(水)

9:30～15:00

【申込先】総務部へ事前に予約が必要

☎ 088-622-6335

【場 所】本所1階金融相談室

理事会だより（令和7年2月20日）

協議事項

- (1) 徳島県農業信用基金協会への出資金増資について【可決】
- (2) 洗車機の更新について【可決】
- (3) 3億円超の信用の供与について【可決】
- (4) 組合と理事の利益相反取引について【可決】
- (5) 出資口数の一部減口について【可決】
- (6) 参事の任免について【可決】

報告事項

- (1) 令和6年度みのり監査法人による期中監査Ⅲの実施について
- (2) 令和6年度みのり監査法人による期中監査Ⅱ実施結果概要について
- (3) 令和6年度下期内部監査報告書について
- (4) 債権回収について
- (5) 理事会決議事項処理状況報告
- (6) 再発防止策にかかる1ヶ月の取組について



「高齢者の高血圧について④」

JJA徳島市管内には、現在321名で構成される「JJA徳島市青壮年部」の組織があります。JJA徳島市青壮年部は、徳島市と佐那河内村管内においてJAをよりどころに地域農業を支える青年農業者の集まりです、農業技術の向上や地域農業の振興、仲間づくりなど、様々な活動を通じてより良い地域社会づくりを目指しており、多くの部員が「アグリクラブ徳島」、「4Hクラブ」等の組織にも加入しています。是非、この機会に若手農家で徳島の農業を盛り上げるために組織活動に参加しませんか。



徳島往診クリニック 吉田大介

必要です。運動を始める前に主治医と相談しましょう。お勧めは軽度の有酸素運動＝通常の速さでのウォーキングです。効果的な歩き方として、両腕を伸ばし、大きくふりながら歩く・あごを引いて背筋を伸ばしまっすぐ前を見て、足はできるだけ伸ばしかかとから着地することに注意しましょう。

③体重：血圧は、体重が増えるにつれて高くなることが知られています。肥満は高血圧のリスクになります。高血圧と関係があるのは『内臓脂肪型肥満』の方で、隠れ肥満の人やお腹が出ている人は注意しなければなりません。内臓脂肪が多いと血液量が増加し、全身の末梢血管が圧迫され血圧が上昇します。脂肪細胞から分泌されるアディポネクチンには脂肪を燃焼させる働きがあり太りにくい身体になるとされていますが、アディポネクチンにはインスリンの効果を高める働きもあります。ところが内臓脂肪が増加するとアディポネクチンの分泌量が低下してしまい、より多くのインスリンが必要となるために血中のインスリン濃度が高くなります。高インスリン血症になると、交感神経機能が高まるため血管が収縮する・血糖値が高くなる・腎臓からの塩分の排出スムーズにいかなくなることにより血圧が上昇します。肥満が原因である場合降圧薬の効果が十分発揮できなくなりますので、まずは運動療法により肥満を改善しましょう。

④飲酒：アルコールに強い・弱いにかかわらず、習慣的に飲酒量が増えると血圧が高くなる傾向があります。飲酒が原因で血圧が高くなっている方は、飲酒量を減らした1～2週間後には血圧が低下することが知られています。

⑤喫煙：喫煙は受動喫煙を含めて高リスクですので、喫煙者に対しては禁煙を指導することが強く推奨されています。

②運動：適切な運動を続けていると、筋肉にたくさんの酸素や栄養を運ぶために血管が広がったり、血圧を上げようと働く交感神経の緊張が緩和されたりして血圧が下がっていきます。ただし、重症の高血圧の方、労作性狭心症や心不全、腎不全、重症の眼底網膜病変などを併存している方や1年内に転倒したことがあるなどバランスや歩行の能力に問題がある方は運動習慣をつける際に注意が

令和6年産米概算金単価及び追加金払い後最終単価のお知らせ

令和6年産米に対しての追加金が決定しましたので報告いたします。

なお、追加金の振込については、令和7年3月25日（火）を予定しています。

銘柄	等級	概算金単価	追加金含む最終単価
コシヒカリ	1等	9,936	10,736
	2等	9,774	10,374
	3等	9,234	9,834
ハナエチゼン	1等	9,504	10,304
	2等	9,342	9,942
	3等	8,802	9,402
あきさかり	1等	9,504	10,304
	2等	9,342	9,942
	3等	8,802	9,402
キヌヒカリ あきたこまち あわみのり ヒノヒカリ	1等	9,288	出荷なし
	2等	9,126	9,726
	3等	8,586	9,186
上記以外の銘柄	1等	9,072	出荷なし
	2等	8,910	9,510
	3等	8,370	8,970
モチミノリ その他もち	1等	9,072	出荷なし
	2等	8,910	9,510
	3等	8,370	8,970

※表示価格は全て税込

銘柄	等級	追加金単価
すべての銘柄	1等	800
	2-3等	600

令和6年産米集荷の実施について（古米）

標記の件につきまして、昨年度産米（令和6年産）の集荷を行いますので、下記の通りご案内申し上げます。

1. 集荷場所及び日時

集荷場所	集荷日	集荷時間
北部営農経済センター	4月16日～17日	9：00～10：00
国府支所	4月14日	15：00～16：00
北井上事務所	4月14日	10：30～11：30
応神事務所	4月10日～11日	9：00～10：30
南井上事務所	4月17日	15：00～16：00
三軒屋倉庫	4月16日	9：00～12：00
眉山支所	4月10日～11日	9：00～11：00
佐那河内果樹選果場	4月10日～11日	営業時間内
南部営農経済センター	4月14日～18日	営業時間内
東部営農経済センター	4月10日～11日	9：00～16：00

2. 買取単価表

【税込】

品種	1等	2等	3等
コシヒカリ	10,260	10,098	9,558
あきさかり	9,828	9,666	9,126
キヌヒカリ・あきたこまち あわみのり・ヒノヒカリ	9,612	9,450	8,910
その他うるち	9,288	9,126	8,586

※上記金額は税込になります。代金の精算は、4月中を予定しています。

農業者年金 で老後の生活を安心サポート！

加入要件は3つだけ



60歳未満

国民年金
第一号
被保険者
国民年金保険料納付免除者除く

年間60日以上
農業に従事

加入のメリット

- ・保険料の全額社会保険料控除など、税制面の優遇措置があります
- ・終身年金で80歳までに亡くなった場合、死亡一時金がもらえます
- ・掛金に運用利益を加えて将来年金として受けとれます

保険料額は自由に決められます

1ヶ月からでも加入できます

通常加入の場合 月額2万円から6万7千円まで千円単位で変更可能です
35歳未満で一定の要件を満たす方は、1万円からでも加入できます

農業の担い手には、政策支援(保険料の国庫補助)があります

- ・20年の納付
- ・農業所得900万円以下
- ・下記の区分1～5のいずれかに該当する人

■保険料の国庫補助を受けける期間の保険料は2万円で固定され、加入者が負担する保険料は2万円から国庫補助額を差し引いた金額となります

区分	必要な要件	国庫補助額	
		35歳未満	35歳以上
1	認定農業者で青色申告	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
2	認定新規就農者で青色申告	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
3	区分1または区分2のものと家族経営協定を締結し、経営に参画している被保険者または後継者（※）	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円 (3割)	4,000円 (2割)
5	35歳まで（25歳未満の場合は10年以内）に区分1の者となることを約束した後継者（※）	6,000円 (3割)	—

※後継者:経営者の直系卑属である必要があります

詳しくは…



…お問い合わせ…

徳島市農業協同組合 各支所

徳島市農業委員会事務局 (TEL: 088-621-5394)

佐那河内村農業委員会事務局 (TEL: 088-679-2115)

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ） 防除対策について【移植前】

ジャンボタニシは水路や取水口から用水とともに侵入します。
以下の防除対策を実施しましょう。



写真: 農林水産省

①水路からの侵入防止

時 期	・移植前の入水時～移植後 3 週間まで
対 策	・取水口・排水口に9mm目合い程度のネットや金網を設置 ・ネットや金網に付着した貝は、踏んで潰す等確実に殺貝する
留 意 事 項	・網の目が粗すぎると小さな貝がすりぬけ、逆に細かいとゴミが溜まりやすいため9mm目合いが適当

②水路での殺卵

時 期	・移植前までに
対 策	・水路の壁などに産み付けられた卵塊を殺卵し、水田内に侵入する個体数を減少させる
留 意 事 項	・卵の色が黒～白っぽい場合はふ化直前であり、水中に落としてもふ化できるため、押しつぶす必要がある